

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
IWAD環境福祉 専門学校	平成15年3月25日	平田 富美子	〒732-0816 広島県広島市南区比治山本町14番22号 (電話) 082-254-9000			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人 ひらた学園	平成25年3月22日	平田 富美子	〒732-0816 広島県広島市南区比治山本町14番22号 (電話) 082-254-9000			
目的	社会人の入学も多く、働きながら学べる学校を目指して独自のカリキュラムでの授業。仕事や家庭と両立できる時間割、就職支援センターでのフォローなどを通じて介護福祉士を養成することを目的とする。					
分野	課程名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
教育・ 社会福祉	教育・社会福祉 専門課程	介護福祉学科	2年(昼)	1844時間(79単位)	H20.2.26	
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技
		720単位時間	660単位時間		464単位時間	
生徒総定員		生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70人		36人	3人	8人	11人	
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表 (有)・無) ■成績評価の基準・方法について 授業科目の成績評価は、出席状況や授業態度、提出物そして各学期末に行う試験、実習の成果等の状況等を総合的に勘案して行う。	
長期休み	■学年始め：4月1日～4月5日 ■夏 季：8月1日～8月31日 ■冬 季：12月21日～1月7日 ■学 年 末：3月15日～3月31日			卒業・進級条件	教育課程の修了は、平素の成績と学年末に試験による認定を行い、本校所定の全教育課程を修了したと認められる場合に卒業認定、進級認定とする。	
生徒指導	■クラス担任制 (有)・無) ■長期欠席者への指導等の対応 無断欠席の場合、本人並びに保護者に連絡確認し、必要に応じて面談。			課外活動	■課外活動の種類 施設行事や行政行事へのボランティア参加を推進。 ■サークル活動 (有)・無) スポーツ同好会・	
就職先等の状況	■主な就職先、業界 介護福祉施設、障害者施設、病院他 ■就職率 96% ■卒業者に占める就職者の割合 ※2 95.1%			主な資格・検定	介護福祉士 レクリエーションインストラクター キャンプインストラクター 他	
中途退学の現状	■中途退学者 1名 ■中退率 2.7% 平成26年5月1日在学者 36名(平成26年4月入学者を含む) 平成27年3月31日在学者 35名(平成27年3月卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 家計等経済的な問題や病気療養等 ■中退防止のための取組 定期的に理解度確認の小テスト、担当教員の個別サポート、定期的な個別面談等の実施。 学生の様子(出席状況、授業態度、成績等)を週毎の学科会議で共有、支援策を検討する。					
ホームページ	URL:http://www.iwad.ac.jp					

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

実践的かつ専門的な職業教育を実施するために、企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）に活かす。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 26 年 10 月 16 日現在

名 前	所 属
平田 富美子	(学校法人ひらた学園) IWAD 環境福祉専門学校 理事長・学校長
中村 安行	(学校法人ひらた学園) IWAD 環境福祉専門学校 専務理事・事務局長
城田 忠	(学校法人ひらた学園) IWAD 環境福祉専門学校 副校長
有田 隆則	(業界団体役職) 広島県農業法人協会会長 日本野菜育苗協会会長 広島県農林振興センター評議員 (有) 有田園芸農場代表取締役
福嶋 偉人	(業界団体役職) (社) 広島県造園建設業協会会長 日本インドアグリーン協会会長 (株) 有斐園代表取締役会長
篠原 一郎	(業界団体役職) NPO 法人ゆうきびと理事 食と農広島県協議会幹事 広島県自治体問題研究所理事
梶原 澄子	(企業等役職) (社) 可部大文字会 老人福祉施設山まゆ常務理事・施設長 広島市老人福祉施設連盟副会長
保田 和彦	(企業等役職) 医療法人あすか 介護事業部部長・生活リハビリ推進室室長
山村 多賀也	(企業等役職) (株) はな乃祥ドゥジエム代表取締役
正本 大	(企業等役職) (社) 日本造園建設業協会広島県支部支部長 広島県緑化センター指定管理者 みずえ緑地 (株) 代表取締役
弥政 慎一	(企業等役職) 社会福祉法人光清学園施設長

(開催日時)

第 1 回 平成 26 年 3 月 25 日 17:00~18:30

第 2 回 平成 26 年 11 月 22 日 17:00~18:30

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

現場で求められる介護福祉士像を踏まえて、必要な専門知識や技術を修得そして国家資格介護福祉士を取得する。

- ・介護福祉士養成のための実習であることの共通理解。
- ・可能な限り、コミュニケーションや基本的介護技術の経験をさせていただくことの承諾。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
介護実習 I	利用者の生活の場である多様な介護現場において、利用者の理解を中心として、これにあわせて利用者・家族とのかかわりを通じたコミュニケーションの実践、他職種協働の理解、基本的介護技術の確認等を行い、チームの一員としての介護福祉士の役割について理解することを目的とする。1 年次に実習を 3 回計画実施するが、原則、同一施設及び同一種別への実習とならないように実習先を決定する。	同一施設ではない。別紙様式 3-1 を参照
介護実習 II (介護実習 II-1、介護実習 II)	介護実習 II-1 介護実習 II における介護過程の展開を念頭に置き、介護実習 II で行く実習施設で実習を行い、利用者とのコミュニケーションを深め、利用者との信頼関係を築く。個別性を考えた介護技術の実践ができる。 介護実習 II	同一施設ではない。別紙様式 3-1 を参照

	個別ケアを行うために個々の生活リズムや個性を理解し、利用者の課題を明確にするため利用者ごとの個別介護計画の作成、実施後の評価やこれを踏まえた介護計画の修正と言った介護過程の展開を実践する。また、他の科目で学習した知識や技術を総合して、具体的な介護サービスの提供の基本となる実践力を習得する。 介護実習Ⅱ-1と介護実習Ⅱの実習先は同一施設での実習とする。																	
・介護福祉士を育成するための指導・助言をしていただくことの承諾。																		
<b>3. 教員の研修等</b> (教員の研修等の基本方針) 介護福祉士養成施設として、時代の求める質の高い介護福祉士を養成するために研修等を積極的に組み入れて知識や技術の習得と教育への反映を行う。																		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本介護福祉士養成施設協会が開催する教職員研修会への参加</li> <li>・広島県専修学校各種学校連盟が開催する教職員研修会への参加</li> <li>・本校が開催する講習会等にスタッフとして参加</li> </ul>																		
<b>4. 学校関係者評価</b> (学校関係者評価委員会の全委員の名簿)																		
平成26年10月16日現在																		
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">名 前</th> <th style="width: 70%;">所 属</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>渡部 徳代</td> <td>(卒業生) NPO 法人日本リハビリテーション協会 評議員</td> </tr> <tr> <td>石田 良二</td> <td>(保護者・農業) 広島県農林水産局課長</td> </tr> <tr> <td>杉之原 康子</td> <td>(地域住民) 三晃不動産株式会社 代表取締役</td> </tr> <tr> <td>川村 慎二</td> <td>(介護福祉・園芸療法) 医療法人せのがわ 理事・総務部長</td> </tr> <tr> <td>仲田 仁</td> <td>(園芸療法・こども) 社会福祉法人おりづる 理事長</td> </tr> <tr> <td>西山 直樹</td> <td>(造園・フラワー) 株式会社滴翠造園 代表取締役社長</td> </tr> <tr> <td>岡田 雄幸</td> <td>(農業・自然) 社会福祉法人みどりの町理事 障害者支援施設大和農園施設長</td> </tr> </tbody> </table>	名 前	所 属	渡部 徳代	(卒業生) NPO 法人日本リハビリテーション協会 評議員	石田 良二	(保護者・農業) 広島県農林水産局課長	杉之原 康子	(地域住民) 三晃不動産株式会社 代表取締役	川村 慎二	(介護福祉・園芸療法) 医療法人せのがわ 理事・総務部長	仲田 仁	(園芸療法・こども) 社会福祉法人おりづる 理事長	西山 直樹	(造園・フラワー) 株式会社滴翠造園 代表取締役社長	岡田 雄幸	(農業・自然) 社会福祉法人みどりの町理事 障害者支援施設大和農園施設長	
名 前	所 属																	
渡部 徳代	(卒業生) NPO 法人日本リハビリテーション協会 評議員																	
石田 良二	(保護者・農業) 広島県農林水産局課長																	
杉之原 康子	(地域住民) 三晃不動産株式会社 代表取締役																	
川村 慎二	(介護福祉・園芸療法) 医療法人せのがわ 理事・総務部長																	
仲田 仁	(園芸療法・こども) 社会福祉法人おりづる 理事長																	
西山 直樹	(造園・フラワー) 株式会社滴翠造園 代表取締役社長																	
岡田 雄幸	(農業・自然) 社会福祉法人みどりの町理事 障害者支援施設大和農園施設長																	
(学校関係者評価結果の公表方法) 学校ホームページに掲載 URL: <a href="http://www.iwad.ac.jp">http://www.iwad.ac.jp</a>																		
<b>5. 情報提供</b> (情報提供の方法) 学校ホームページに掲載 URL: <a href="http://www.iwad.ac.jp">http://www.iwad.ac.jp</a>																		

授業科目等の概要

教育・社会福祉専門課程介護福祉学科										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			人間の理解	人間の尊厳の保持について多角的に学ぶ	1	60	3	○	△	
○			社会の理解	支援を必要とする人を取り巻く制度・家族・地域福祉等を学ぶ	1.2	60	4	○		
	○		法学	憲法や成年後見制度等人権擁護を視点に法を学ぶ	1	30	2	○		
	○		レクリエーション	現場に活かせるレクリエーション知識・技術の習得とリター育成	1.2	120	4		○	

○		介護の基本	介護とは何か、介護を必要とする人々の生活の理解等	1	30	2	○		
○		介護の基本	チーム7、地域連携、リスクマネジメント、従事者の安全等	1	30	2	○		
○		介護の基本(リハビリテーション)	リハビリテーションの考え方と実際について学ぶ 専門職との連携	1	30	2	○		
○		介護の基本	介護福祉士の役割と機能から法定義、職能団体の活動	2	30	2	○		
○		介護の基本	自立に向けた介護の視点(自立感・個別性等)を学ぶ	2	30	2	○		
○		介護の基本	尊厳を支える介護について事例をもとに考察する	2	30	2	○		
○		コミュニケーション	コミュニケーションの基本的理解と技法の具体的活用を学ぶ	1.2	60	2	○		
○		生活支援技術(基本理解)	生活支援とは、生活支援を ICF の視点から考える	1	30	1		○	
○		生活支援技術(基本技術)	身支度・移動に関するアセスメントと介助技法の習得	1	30	1		○	
○		生活支援技術(基本技術)	食事・入浴に関するアセスメントと介助技法の習得	1	30	1		○	
○		生活支援技術(基本技術)	排泄・睡眠に関するアセスメントと介助技法の習得	1	30	1		○	
○		生活支援技術(家政学概論)	「食」をテーマに栄養基礎学から調理方法まで実践的に学ぶ	1	30	1		○	
○		生活支援技術(医療的対応)	緊急時対応、終末期対応を学ぶ	2	30	1		○	
○		生活支援技術(手話)	聴覚障害を通じたコミュニケーションについて体験的に学ぶ	2	30	1		○	
○		生活支援技術(家政学実習)	家政学概論を基に特性に応じた献立調理の実践	2	60	2		○	
○		生活支援技術(障害別)	障がいの特性を理解しながら生活支援方法を学ぶ	2	30	1		○	
○		介護過程	介護課程の意義と目的を学ぶ	1	30	2	○		
○		介護過程	介護過程の展開(情報収集とアセスメント)を学ぶ	1	30	2	○		
○		介護過程	介護過程の展開(課題の抽出と計画の作成)を学ぶ	2	30	1		○	
○		介護過程	居宅における介護過程の展開～事例検討	2	30	1		○	
○		介護過程	施設等における介護過程の展開～事例検討	2	30	1		○	
○		介護総合演習	介護実習の基本理解、記録の書き方	1	30	1		○	
○		介護総合演習	介護実習Ⅰの振り返り、介護実習Ⅱの意義・目的・内容	1	30	1		○	
○		介護総合演習	介護実習Ⅱ-1の振り返り、介護実習Ⅱ-2の展開	2	30	1		○	
○		介護総合演習	2年間の実習の振り返り、事例研究	2	30	1		○	
○		介護実習Ⅰ	多種場所での実習を通して利用者の生活場所を理解する	1	240	6			○
○		介護実習Ⅱ-1	介護実習Ⅱ-2と同一施設での実習、施設を理解する	2	40	1			○
○		介護実習Ⅱ-2	介護課程の展開の実践	2	184	4			○
○		発達と老化	老化現象の理解、医学的・心理学的理解、日常生活への影響等	1.2	60	4	○		

○		認知症の理解	認知症に関する基本（医学的・心理的・社会体制等）知識	1.2	60	4	○		
○		障害の理解	障害の基礎的理解と医学的側面の基礎的知識	1.2	60	4	○		
○		心と体のしくみ	心と体のしくみの理解、生活支援に関連したしくみの理解	1.2	120	8	○		
合計				36 科目	1844 単位時間（ 79 単位）				